

## 梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.18

1981(昭和56)年、本町二丁目の下沼公園がオープンしました。もともと下沼の水源は湧き水でしたが、高度経済成長期には雑排水が流れ込んでいました。

1971(昭和46)年に開始された下水道の整備により美しい姿を取り戻すと、下沼は市民の強い要望であった「水と緑の調和した公園」として生まれ変わりました。

同じように本町一丁目の上沼公園も水を生かした公園として、1985(昭和60)年に完成したよ。



沼の周辺には、四季折々の花や、新緑や紅葉が楽しめるよう58種類もの樹木が植えられたよ!

## 下沼公園の開園 1981(昭和56)年



### キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま  
キッズ集合!

おしえて『文化財』

桜山窯跡群  
～古墳時代の工場～

桜山小学校の南東に「はにわの丘公園」があります。ここでは今からおよそ1450～1500年前、当時の権力者のお墓である古墳に供える須恵器や埴輪を作っていました。東松山市指定史跡「桜山窯跡群」です。桜山窯跡群では工房(作業小屋)と思われる家の跡のほか「のぼり窯」という窯跡が実に19基も見つかっています。

ここで作られた須恵器は比企地域で最も古いものとされ、また埴輪は各地に出荷され、あの有名な「埼玉古墳群」(行田市・国特別史跡)でも使われていたことがわかっています。

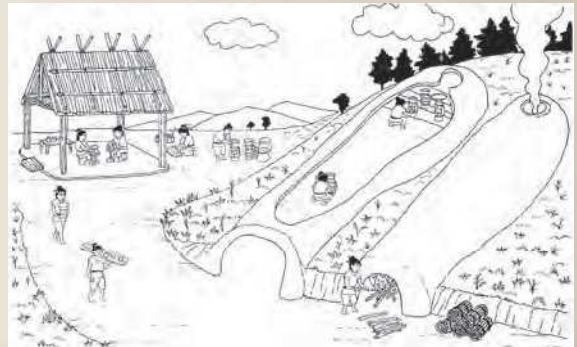
現在窯跡は埋め戻して保護していますが、公園には窯があった場所に木を植えて窯跡の形がわかるように工夫しています。公園を訪れ、もくもくと煙が上がる「須恵器・埴輪工場」の姿を想像してみてもいいでしょうか?



桜山で作られた埴輪(県内最大級の大きさ・埋蔵文化財センター展示中)



発掘調査時の航空写真と出土埴輪(昭和50(1975)年撮影)



当時のイメージ

問  
埋蔵文化財センター  
27-1-0333  
FAX 27-1-0334